

会報 SHINSHIYOU

平成20年9月1日

第165号

(昭和29年7月10日創刊)



発行：(社)神奈川県私立幼稚園連合会
 発行人：会長 渡邊 眞一
 編集人：神私幼総務部(広報室)
 発行：年4回(6月・9月・12月・3月)
 発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0011 神奈川県横浜市神奈川区神之木台22-14 県青少年課神之木台分館内
 TEL. 045 (430) 3102 FAX. 045 (430) 3103



大会テーマ

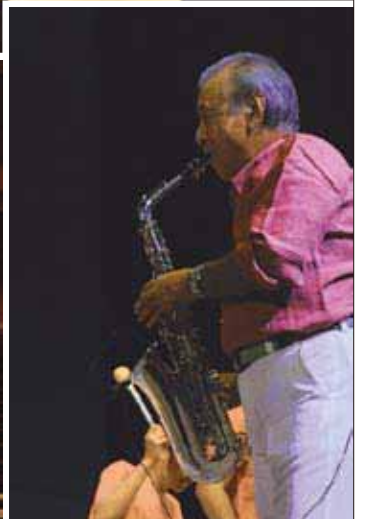
心が響きあう幼稚園教育を

2008年7月31日

第48回 教育研究(全県)大会および
 県連合会設立60周年記念大会開催



来る2008年7月31日、パシフィコ横浜・国立大ホールにおいて、第48回教育研究(全県)大会及び神奈川県私立幼稚園連合会設立60周年記念大会が開催されました。当日は、ご来賓、県下12協会の教職員の方々、4013余名が参加し、大盛況のうちに無事大会を終えることができました。





取材記 (横須賀協会・うわまち幼稚園) 田中 貴章

今回、特別取材班として編成された広報室の室員の一人としてカメラ片手にステージ前とプレスを往復して、大会当日の記録写真を撮ったり、参加者にインタビューを行いました。写真に関しては、撮影した枚数は室員4名で2千枚以上となりました。

今回の広報紙にはその時撮影された写真が数多く掲載されています。

撮影時は、カメラのモニター越しに見るステージ上の人から、言葉では表現出来ない、その人の実力や歴史に裏打ちされた迫力を感じました。その力が今回のイベントを成功へと導く、総合力の一端を担っていたことと思います。

私も今回広報室員として、役割を担えたことに喜びを感じております。

**県連合会
60周年
記念式典**

▶▶▶表彰
県連合会加盟50年以上の園(全124園)
勤続40年以上の方(全56名)
歴代会長表彰(全3名)

現役最高齢の横須賀幼稚園・園長 鈴木綾子先生が代表で表彰を受けました



新全日会長のご挨拶

表彰を受ける第10代会長 永保固紀先生

記念祝賀会

▶▶▶会場
パシフィック横浜ベイ
ホテル東急
ボールルームにおいて



松沢知事も駆けつけ
ご祝辞をいただく



ハローキティバスも
お目見え



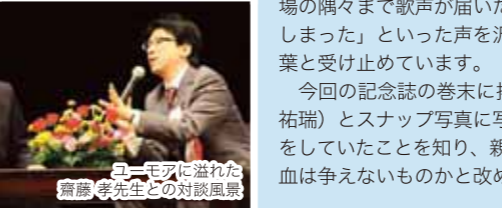
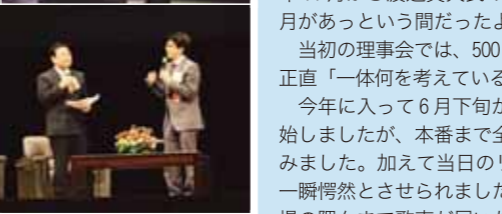
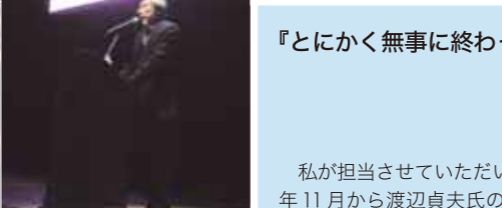
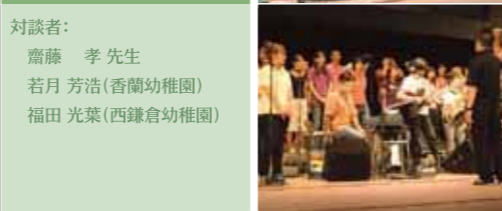
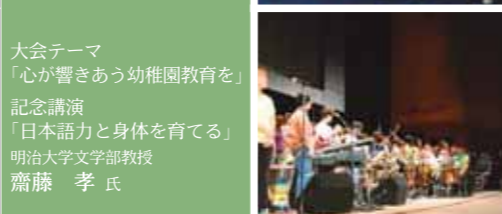
**第48回
教育研究(全県)
大会**

大会テーマ
「心が響きあう幼稚園教育を」
記念講演
「日本語力と身体を育てる」
明治大学文学部教授
齋藤 孝 氏

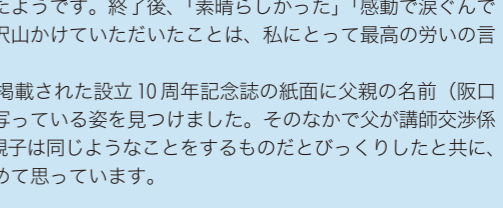
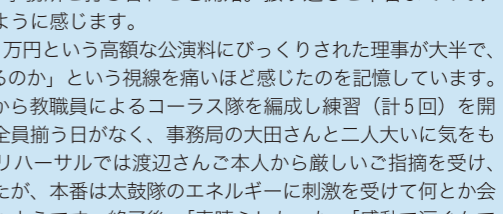
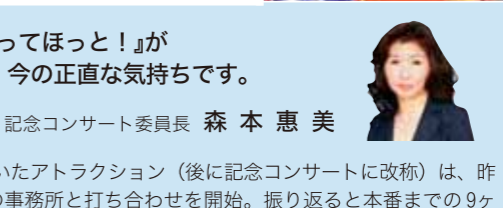
対談者:
齋藤 孝 先生
若月 芳浩(香蘭幼稚園)
福田 光葉(西鎌倉幼稚園)



ユニフォームに溢れた
齋藤 孝先生との対談風景

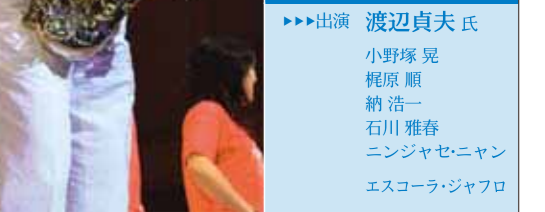
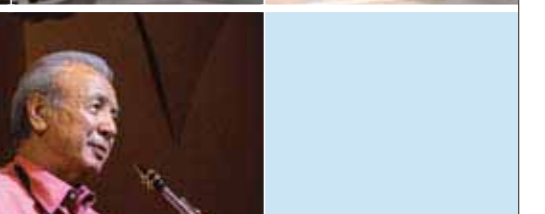
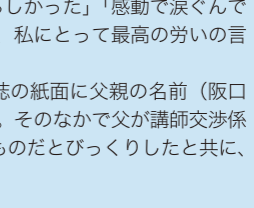
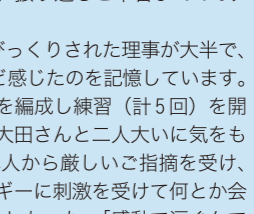
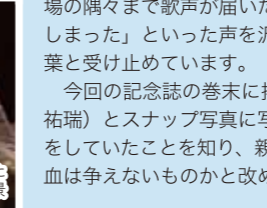
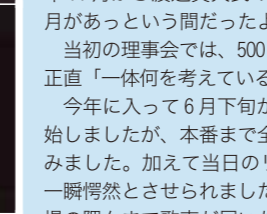
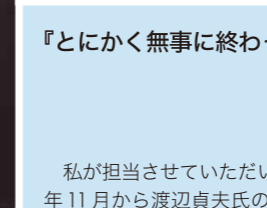


**大会会場
パシフィコ横浜**



8月の青空をバックに大会会場全景

リハーサル風景



記念コンサート

Share the World

▶▶▶出演 渡辺貞夫 氏
小野塚 晃
梶原 順
納 浩一
石川 雅春
ニンジャセ・ニヤン
エスコラ・ジャフロ

『とにかく無事に終わってほっと！』が
今の正直な気持ちです。

記念コンサート委員長 森本 恵美



私が担当させていただいたアトラクション(後に記念コンサートに改称)は、昨年11月から渡辺貞夫氏の事務所と打ち合わせを開始。振り返ると本番までの9ヶ月があったように感じます。

当初の理事会では、500万円という高額な公演料にびっくりされた理事が大半で、正直「一体何を考えているのか」という視線を痛く感じたのを記憶しています。

今年に入って6月下旬から教職員によるコーラス隊を編成し練習(計5回)を開始しましたが、本番まで全員揃う日がなく、事務局の大田さんと二人大いに気をもみました。加えて当日のリハーサルでは渡辺さんご本人から厳しいご指摘を受け、一瞬愕然とさせられましたが、本番は太鼓隊のエネルギーに刺激を受けて何とか会場の隅々まで歌声が届いたようです。終了後、「素晴らしかった」「感動で涙ぐんでしまった」といった声を沢山かけていただいたことは、私にとって最高の労いの言葉と受け止めています。

今回の記念誌の巻末に掲載された設立10周年記念誌の紙面に父親の名前(阪口祐瑞)とスナップ写真に写っている姿を見つけました。そのなかで父が講師交渉係をしていたことを知り、親子は同じようなことをするものだとびっくりしたと共に、血は争えないものかと改めて思っています。



思い出
深かった

設立60周年記念大会 を終えて

希望の県 神奈川を県連力で実現した大会 —関係者に深く感謝して—



大会委員長
渡邊 眞一
県連合会 会長

今、すべての県連合会にかかわる方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。十年ごとの周年行事とはいえ、今回の大会は、過去五回の大会とは意味づけに大きな違いがありました。

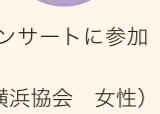
それは、平成二十年十一月三十日をもって現行の社団法人が役割を終え、今後五年の間に新制度による公益法人をめざす改革着手の年の大会だったからです。昭和二十三（一九四八）年に諸先輩が苦勞するなか設立された団体は、その後、昭和四十四（一九六九）年に現在の社団法人神奈川県私立幼稚園連合会に発展し、現在に至っています。今までの永い歴史にピリオドをうち、本年十二月一日からは新法人をめざす新たな出発が求められる年の大会であったことは、会長としても力が入りました。さて、この六十年間で幼児教育の姿も大きく変わり、これからも幼児教育の本質を見失うことなく邁進

してまいります。一方、現実も直視しながら近

未来の幼稚園経営を考究しなければならぬ厳しい状況にどう対応していくべきか悩みはつきません。新制度による公益法人問題と同様、大きな課題です。本六十周年の大会は、まれにみる大きな大会でした。「六十歳の還暦を祝おう!!」「六十年の歴史に感謝しよう!!」「そして新たな出発をしよう!!」を合い言葉に、様々な思いを持って、四〇〇名を超える先生方が参集した実に大きな大会でした。準備委員会、実行委員会の先生方のお力と、十二協会のご理解・ご協力があって初めて、ここに思い出のページとなる大会ができたことに「県連力」を改めて感じました。

今回、十二協会の一つ、県連合会の一つをモットーに県連合会の旗を制定致しました。また、新幼稚園会館（仮称）の取得実現に向けての対応を記念事業として位置付けました。これらは、県連合会の永い思いが込められた事業の一つです。今回の設立六十周年記念事業は、七十年、八十年とこれから先の永続性を強く願うての開催でした。一園一園の加盟園と関係者にお礼と深く感謝を申し上げ、記念行事を終えての結びの言葉と致します。ほんとうにありがとうございます。ありがとうございました。謝謝!!

参加者の VOICE



一般参加者

- 参加して良かったです。あんなに素晴らしい歌声が聴けるとは思ってもいませんでした。記念コンサートに参加した皆さまお疲れ様でした。
(横浜協会 女性)
- 齋藤孝先生ってテレビで見るよりカッコいいですね。拍手をして行動のけじめをつける方法はとても楽しく受け入れることができました。子ども達にも使ってみようと思いました。
(川崎協会 女性)

コーラス参加者

- 最高！涙が止まらなかった。ナベサダさんの指導のお陰です。やさしくて厳しくて思わずナベサダワールドに引き込まれてしまいました。
(相模原協会 女性)
- 大きな舞台と大きなホールでの発表は私の宝物になりました。夏休みの思い出として二学期になったら、子ども達に自信を持って報告できます。素晴らしい機会を与えて下さった園長先生に心から感謝します。
(横浜協会 女性)

スタッフ

- 一年前から準備してきましたが、正直なところ、どうなることかと心配のほうが大きかったと思います。しかし、さすがは園長先生達の力はすごいです。場にに応じた判断と行動がテキパキとしていて、見ていてとても勉強になりました。
(川崎協会 男性)
- お疲れ様でした。前日からの作業を通して神私幼の伝統とその底力を改めて認識しました。打ち上げ会もよろしく！
(相和協会 男性)

その他

- こういう大会でいつも思うことは、担当になる方が偏っていることだと思います。神私幼60周年大会役員なのですから。各協会が平等に分担できないものではないでしょうか？

深い学びと 連帯感を通じて 決意を新たに



副実行委員長
小澤 俊通
厚木地区私立幼稚園協会会長
厚木 厚木田園幼稚園 園長

真夏の太陽がキラキラと輝く暑さの中、県設立六十周年記念大会は開催された。関係者は朝早くからパシフィコ横浜国立大ホールに参集し、開会までの準備にあたった。思えば一年以上前から準備委員会は発足し、この記念大会の企画を進め、この四月からは実行委員会がその任務を引き継いだ。渡邊県連合会長の思い入れを具現化し、県下の私立幼稚園関係者の参加する過去にない大きな大会となった。

一口に六十周年といってもどこかピンとこない。それもそのはず、私はまだこの世に生も受けていない。この度完成した記念誌をめくると、先人の偉業がよくわかり、そのご苦労に自然と頭が下がってくる。ここ数年の幼児教育をとりまく環境はめまぐるしく変化しているが、原点を忘れることなく、同志と共にこの難局を乗り越えていきたいと強く願っている。この六十周年を好機と捉え、県連も長年の課題であった会館取得に大きく踏み出した。これも県連加盟各園の後押しがあったことと考えている。県連の役員としても、この道筋を誤ることなく、目的完遂に努力していきたい。全ては未来を担う子供たちのために、私たちは限らない研鑽の日々を積み重ねたいと決意を新たにしたい次第である。

県連の底力を 大きな流れの中に 発揮して



会場設営担当
山本 安雄
経営管理部 次長
相和 鈴鹿幼稚園 園長

うーん、確かに思い出は深いのである、深いだけだね。記念コンサートは興奮を呼び起こし、すばらしかった。コースに参加した先生たちと太鼓隊の子どもたちがうらやましいくらい感動しました。

でも、運営に加わった者として冷静に全体を見回して見るとね、まあ、たった二、三回の実行委員会であれだけのことが出来てしまうのだから、すばらしいと言えはすばらしいのだ。けれども、普段、たった一言で園を動かしている、あるいは思いつきで事を運ぶ癖のついた園長たち、よく言えば臨機応変、現場対応に慣れて、講師の齋藤先生言うところの「段取り力」を跳び越した不思議な能力でたいていの事はこなしてしまう能力がやっかいだったのだ。

あれはどうなっているのだろう、これはどうなのかな？と心配性の私（園では大雑把すぎるというも批判されているが……）は、ついつい会議で質問をしてしまうのだが、「まあ、なんとかなるでしょう」「それは現場にまかせましょ」「と力強いことばが返ってきてしまう。うーん、すごいです、すごすぎる。この大会の基本コンセプトを理解しないまま運営の末席に加わらせていただいた私など、ただオロオロするばかり。ともあれ、祭典は、大成功に終わった。コーラス隊と太鼓隊の皆様は、我々は足を向けて寝られないのだ。

幼児教育の仕事に 誇りと自信を持つ 喜びを感じて



レセプション委員会
大竹 貞代
特定非営利法人
藤沢市私立幼稚園協会 会長
藤沢 藤沢若葉幼稚園 園長

真夏の良く晴れ上がった七月三十一日に、海辺のパシフィコ横浜国立大ホールに四千名余りの方が集まり、社団法人神奈川県私立幼稚園連合会設立六十周年記念大会が盛大に開催されました。世界的に有名な渡辺貞夫氏率いる記念コンサートから始まり、教育研究全県大会、大会テーマの「心が響き合う幼稚園教育」の映像に於ける保育発表、齋藤孝先生の講演「日本語と身体を育てる」は身体を使ってのお話で楽しく聴講致しました。そして対談の後、記念式典が開催され、永年園及び永年勤続者表彰が滞りなく執り行われ、私はこの節目の大会を大勢の参加者と共有し、幼児教育という仕事に誇りと自信を持つ喜びを感じました。又それと共に県内の幼児教育に携わって来られた諸先輩の先生方のご苦勞が、如何ほどの大きなものかをも感じ取る事が出来ました。

私はこの思い出深い大会を経験し、明日からの幼児教育にも研修を重ね一人ひとりの子どもの健全育成、幸せを考え、それぞれの子どもが集団生活の中で、人との関わり方を学び自発性や主体性、自立心を育み、一歩一歩確実に健やかな保育を進めていきたいと改めて感じた次第です。

60年の重みと 新しい時代の 幕開け



総合司会
森 慎互
横浜 ながつた幼稚園 園長

この度、平成二十年七月吉日・パシフィコ横浜国立大ホールに御来賓筆頭の野義博副知事をはじめ大変多くのご来賓と会員の方々が集い、神奈川県私立幼稚園連合会設立六十周年記念大会が盛大且つ華やかに挙行され、成功裏に終える事ができ感謝と安堵の気持ちで嬉しい限りです。

一言に六十年、その活動の軌跡は、並み大抵な努力と研鑽の日々だったと思ひ、改めて先人達のご苦勞に頭が下がる思いで一杯です。

中でも当日の目玉でもある渡辺貞夫さんと共演者（教員連）の演奏とパフォーマーは圧巻ですが世界の第一人者、何時までも止まらぬ喝采にその評価の程が伺え、県連合会の益々の発展と躍進に寄与する素晴らしい演出でした。

尚、大会運営にご尽力とご支援を頂きました皆様方に称賛と慰労の言葉を申し添え、我々後継者もこの偉業を継承し、日々精進と研鑽を再度確認して次の一〇〇年に力強い一歩を踏み出せばと切に思いました。

新鮮な息吹きが 吹き込まれた 大会でした



会計委員会
山田 静栄
横須賀 相武幼稚園 園長

外はももんとした暑さの中、会場のホールの中の熱気は、四半世紀を過ぎたというエネルギーに満ちあふれたものであった。渡辺貞夫さんによる記念コンサート・齋藤孝氏による講演、ジャンルは違っても会場の人々の心を魅了しプロフェッショナルが持つ魅力を存分に刻み込み、人の心を動かす力を与えられた素晴らしい感動を覚えたことと思います。とかくマンネリ化してしまう中で新鮮な息吹を感じさせられました。

社会に求めるもの、また求められるもの、その要素を見きわめられる力を持つ人づくりを、基礎の段階で幼児教育を通して行っていくなければならぬと感じました。

長きに渡り県連合会にご尽力を尽くされた方々のご功績を称え、今日の六十周年の重みと尊厳を感じました。そして、この大会を開催するにあたり長い期間関わられた方々のご苦勞は察するに当たるものがあったことと推察いたします。大会の成功と関係者の皆様方に感謝をいたし、お礼申し上げます。ありがとうございました。

60周年記念大会 協会別参加者数

協会名	参加園数	参加人数
1 横 浜	207	1,764
2 川 崎	61	568
3 横 須 賀	20	167
4 藤 沢	21	207
5 鎌 倉	21	185
6 茅 ヶ 崎	16	104
7 湘 央 地 区	31	309
8 小 田 原	5	29
9 相 和	18	195
10 相 模 原	24	236
11 逗 葉	7	56
12 厚 木 地 区	17	140
合 計	448	3,960

60周年記念大会・記念祝賀会 総人数

	記念大会	記念祝賀会
■参加人数	3,960	184
■ご来賓	53	52
合 計	4,013	236



振興部長
山口 繁美

次年度県予算に対する要望



平成二十一年度の要望書は、原案を振興部会、常務理事会に諮り、要望書にまとめたものを理事会で説明、了承を受けた。この要望の実現には県議会各政党・会派の理解と協力を得る必要からヒヤリングを受けなければならない。七月十五日の自由民主党に始まり翌十六日に県政会・大志会、二十五日に民主党・かながわクラブ、二十九日に公明党とヒヤリングを続けた。九月初旬には県民部長に要望する予定である。ヒヤリングは会長の総括的な要望

に始まり、振興部長から項目別の説明をし、質問を受ける形式である。この席には正副会長、振興部長・次長、総務部長、事務局長及び退職基金財団からも理事長以下役員が出席した。



一般補助

経常費補助金の充実

教職員割算定額の見直し

- 1 一職階とされている教職員割の算定を三職階（園長・主任・教職員）に分けた算定に改善。
- 2 地域手当の算定割合を三十％に改善。
- 3 一種免許所持教員への算定額の割り増し改善。
- 4 パート教員の補助対象化。
- 5 学外外の園に対する補助単価の増額と交付時期の改善。

特別補助

預かり保育補助金の充実

- 1 補助単価の増額と対象園数の増。
- 2 本事業の補助金増額と、事業に取り組む学外外の園に対して補助がなされるような施策の充実。
- 3 ゆとり教員数の緩和。

その他の補助

障害児教育費補助金の拡充

- 1 募集時の診断書や判定所の申請時有効化。
- 2 名称の変更「障害児」↓「特別支援」に幼稚園における危機管理体制の充実
- 3 緊急通報システムの設定と同様に自動体外式除細動器（AED）の設置について補助金の継続と充実。

新規事業への取り組み

- 1 この制度の充実には補助制度の創設が必須である。

以上が要望書の内容である。要望の実現には、県当局はもちろん、県議会各政党・会派の県会議員諸氏にも大いに協力をいただく必要がある、そこで好むと好まざるとに関わらず、振興連盟の側面からの支援が欠かせない物となる。全ての加盟園の力で県連振興活動を支援願いたい。

『4000人の“心と知が響き合った”教育研究全県大会』



研究部長 亀ヶ谷 忠宏

成二十一年に、大会テーマ『心が響き合う幼稚園教育を』の下、県連設立六〇周年記念大会が開催されました。研究部は第四十八回教育研究全県大会（二時間）を担当し、

①大会テーマ 『心が響き合う幼稚園教育を』の解説
②講演 『日本語力と身体を育てる』
③対談 齋藤 孝先生

若月芳浩（香蘭幼稚園） 福田光葉（西鎌倉幼稚園）
を好評のうちに終えることができました。これもご参加頂いた先生方が、とても熱心に傾聴して下さいのおかげと、研究部員一同大変嬉しく思っております。ありがとうございました。

また、研究部員三十人の先生方には段取りよく、さらに臨機応変にお手伝い頂きありがとうございました。心より感謝申し上げます。これを機縁に、保育者の資質向上のための研修研究活動への先生方のさらなる積極的なご参加をお待ちしております。

平成20年度

上半期研修研究活動報告

さまざまな研修活動の中から「新規採用教員研修会」を取り上げて



研究部研究室長 高 方子
(鎌倉協会 鎌倉みどり幼稚園 園長)

この研修会は、県連合会と学事振興課とで企画・運営している事業であり、ここ数年は県民センターをメイン会場として行ってきた。しかし、研修内容が会場の制約に捉われることがあり「もっと幅広い研修にしたい」という研究部長の強い思いや前年度から準備をしてきたことを含め、年度当初に学事振興課との話し合いをもった。そして今年度は、鶴見大学などの協力を得て環境の整った会場で実施できることになった。

参加者は約二二〇人と例年よりも多く、一学期は水曜日の午後三回の研修会を実施した。会場から遠方の参加者は、開始時間ギリギリに駆け込んでの参加にもかかわらず熱心に活気に満ちた研修が重ねられた。

内容は、第一回目に渡邊会長から「私立幼稚園が担っている意義や幼児教育の大切さ・その一員になったことの重要性」などを学び「日々の保育の積み重ねの重要性」「教師として・社会人としてのマナー」とはまた身体を動かして心を開きながら、「人とかかわりの大切さ」などいろいろな講師からの学びがあった。八月には二日間をわたり新任としての充実した研修会が開催され、更なる充実が計られました。

教員の資質向上の為に更新制度の情報入手は正確に



研究部次長 岩本 勉
(相模原協会 南大野幼稚園 理事長)

平成二十年度の研究部事業は幼稚園教育要領の改訂、教員免許更新制という大きな課題を含んだスタートでした。教員免許更新制は改正教育職員免許法の成立により平成二十一年度から導入されます。今年度は試行的に予備講習が開設されます。講習を実施することができるとして(財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が文科省の認可を受けています。県連合会が八月六・七日に行う免許状更新講習(予備講習)はその事業の一部として実施されました。

教員免許更新制についてはまだ不明の部分が多くあります。情報が錯綜して、誤った情報に惑わされないように注意してください。

オルポート等の研究によれば流言とは「正確さを証明できる具体的なデータがないのに、普通、口から耳へと伝えられ、次々と人々の間に言いふらされて信じていくこと」であり、流言の伝播量は当事者にとって問題の重要性とその問題についての根拠のあいまいさとの積に比例することです。

何はともあれ、対象となる教員には不安の多いことと思いますが、教員の資質向上を目的としたものであるということを念頭において受講していただきたいと思っております。詳細は県連合会や文部科学省のホームページをご覧ください。

設立40周年を機に各園の更なる発展へ向け邁進

■相模原市幼稚園協会は市内私立幼稚園が35ヵ園が加盟し、毎月の理事会では正副会長、総務部、財務部、経営管理部、研究部の各部長がそれぞれの年間計画に従って事業を展開すべく会議を開いております。中でも、行政への働きかけを積極的に行っていることにより、「預かり保育」等では格段の配慮をいただくことができいております。今後の取り組みの中では、相模原型「認定こども園」の機能及び予算化を図るよう努力してまいります。

■経営管理部により毎年、「父母の会連合会研修大会」を相模原市民会館において、各園父母代表1200余名が一堂に会し、市長を始め、多くの推薦議員を招いて研修大会を行っています。また、園長設置者会も箱根で1泊2日の研修を行い、園の安定的な経営や労務管理の問題、入園料や保育料等の経費にかかわる問題等、厳しい現実を直視した中で、意見交換等を活発に行い、お互いの切磋琢磨を

しております。

■教育研究部では各園の園長及び主任が指導的な立場となり、研究推進班を3～4班構成をし、それぞれの班による共同研究を毎月開催しております。それらを2年ごとに研究収録として発刊しております。

■相模原市幼稚園協会は今年設立40周年を迎えます。神私幼40周年記念大会のような規模には到底なり得ませんが、11月29日(土)相模原市民会館において汐見稔幸先生による記念講演や関係者を多数お呼びしての記念式典を挙げるべく準備を進めております。



通信員 川崎 永 (つくしの幼稚園)

社団法人 相模原市幼稚園協会



社団法人 川崎市幼稚園協会

全園加盟ですべての事業に全園が参画

当協会が一番の強みといえ、市内の私立幼稚園85園の全園が協会に加盟していることです。加盟率100パーセントは全国的にも稀有ではないでしょうか。このことが様々な事業や活動を可能にしています。例えば、

- 1 毎月市内のホテルを会場に設置者園長研修会(定例会)を計画的に開催しています。意見表明、情報や問題意識の共有化に有効。毎月定期的に会うので仲が良くなる等の利点も大きく園長間の交流が活発です。存在感のある先輩園長から若き後継者まで多数参加中。
- 2 経営管理部が4月に毎年実施する経営実態調査は全園100パーセントの提出で集計表に空白がなく気持ちがいいばかりでなく、統計資料に信頼性と精度を与えています。毎年6月の例会で配付する約25ページ程度ある集計結果表は圧巻です。なぜなら、各園の園児数、教員数、教育費、教員給与、昇級率、在職期間、バス経費、預かり関係、次年度の教育費の改定予定など、幼稚園経営に関する詳細情報が掲載されているからです。区ごとの表記により、園名の記載はコード番号ですが、隣の園の様子も良くわかります。
- 3 この調査結果を基に、夏休み中に経営管理部が3日間、協会事務局で合宿を行い、データの解析、分析作業等を行い、



9月開催の経営代表者会議の分析資料(分厚いB4サイズ約40ページほど)まとめます。これを基に経営実態状況の報告、教育経営上の課題の整理、次年度の教育費の試算など幅広く開催します。従来は専門家をお招きしての開催でしたが、近年は多くの後継者の成長が著しいため、この後継者グループが運営を担い、実践的勉強を通じて成長の場となっています。(OJT手法の活用機会)

4 毎年大磯プリンスホテルを会場に1泊2日の教員宿泊研修会を開催しています。今年で37回を重ねる伝統ある研修会で、毎年300名程が参加し、宿泊研修だからこそ出来る集中した研修や、ナイトプログラムを通じて深い学びの機会となっています。これには多くの園長、主任も参加し共に学び共感し成長する場となっています。

通信員 井上一彦 (太陽第二幼稚園)

湘 中央地区私立幼稚園協会

園児も地域文化に参加し郷土の誇りを育成



■湘中央地区私立幼稚園協会は、平塚市私立幼稚園協会(23園)、伊勢原市私立幼稚園協会(10園)、二宮町私立幼稚園協会(5園)と秦野市(1園)の、3市1町39園が所属する協会です。地域情報として今回は、平塚市のことについてお伝え致します。

■平塚と聞いて先ず思い浮かぶのは『七夕まつり』ではないでしょうか。昭和26年より始まり今年で58回目を迎え、見物客もピーク時には、5日間で360万人を超すこともありました(2年前より4日間に短縮され、人出も280万人程になりました)。

■商店街で出す竹飾りは年々減少傾向ではありますが、

それに代わり数年前より、市内の幼稚園や保育園、小学校や子ども会等の飾りが増えてきて、市民参加型の祭りとなってきました(1本数百万円もする豪華な飾りとは比較になりませんが、質素な手製の可愛い竹飾りも割と評判です)。

■一方子ども達の興味は、竹飾りよりもずらりと並んだ露店の方ではないでしょうか? 金魚すくいや綿菓子等の昔ながらの露店に加えて、最近では人気のカードやコンピューターゲームの当てくじ、そして国際色豊かな食べ物や売店も軒を並べ祭りの雰囲気盛り上げています。

■七夕期間中はメインストリートを中心に、東西、南北にそれぞれ約500メートルの区域に交通規制が掛けられ、一般の車輛は勿論のこと、路線バスも進入禁止となる為、園バスもこの期間は乗降場所を規制区域外に設けるなどして祭りに協力しております。まだ七夕まつりをご覧になっていない方は、是非一度おいでになってはいかがでしょうか。

通信員 灘波俊夫 (なでしこ幼稚園)



社団法人 横浜市幼稚園協会

横浜にも自然がいっぱい - 幼児の目を輝かせる環境にあふれて -

■戸塚区の幼稚園では、毎年10月15日から願書の配布を行い、11月1日より願書の受付開始となっています。願書受付にあたり、各園で幼稚園見学会や説明会などを行なっています。またインターネットで幼稚園のホームページを見ていただくこともできますが、幼稚園に足を運んでいただくと、それぞれの幼稚園の雰囲気や特徴を感じていただけます。

■戸塚区はとても自然が多く、カワセミという鳥や、猛禽類のチョウゲンボウを見ることが出来るため、その姿を写真に収めようと毎日のようにカメラを持った方が撮影に訪れています。また、田んぼや畑がありそこではキジ、シラサギ、カモなどが見られます。

■また、5月の連休にはタタミ二畳から六畳ほどもある大きな凧を上げる、凧上げ大会が開かれています。暖かくなってくると、カブトムシ、クワガタ、おたまじゃくし、ザリガニの姿も見られ、夏休みには子ども達が網を片手に昆虫採集やザリガニ捕りに奮闘しています。

■境川沿いには、サイクリングロードがあり平日は多

くの方が散歩道として利用され、週末は家族でサイクリングを楽しんでいます。

■野球場や、テニスコート、アスレチックを備えた公園が多数あります。舞岡ふるさと森や舞岡公園、まさかりが淵市民の森、俣野公園、東俣野中央公園など魅力ある公園でゆっくりとした時間を過ごすことができます。

■公園の芝生広場では、昼食時に小さな子どもを連れてお母さん達が集まり、ピクニックを楽しむ、ほのぼのとした姿がみられます。

■畑に、田んぼ、森、公園と多くの緑に囲まれほのぼのと落ち着いた雰囲気が味わえる地域となっています。

通信員 川戸俊一郎 (東俣野幼稚園)

逗 葉私立幼稚園協会

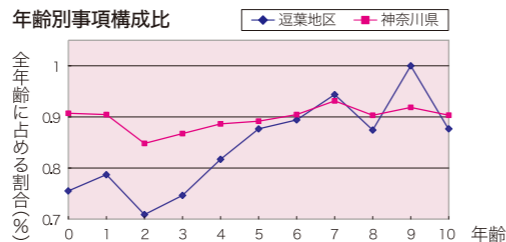
自然豊かな環境を求めて移り住む人々が増加中

■逗葉私立幼稚園協会は神奈川県三浦半島の付け根にある逗子市と葉山町、二つの町、七つの幼稚園により構成されている、とても小さな協会です。人口も二つの自治体合わせてようやく9万人に届くかどうかといったところです。また、逗子市は神奈川県の中で最も高齢化率の高い自治体であり、葉山町も同水準となっています。

■このように、今日まで起こっている少子高齢化の流れを非常に強く感じられる地域です。

■反面、幼稚園に通っている子どもの家庭をみると、一人っ子はわりあい少なく、二人、三人兄弟が多く、ときには四人兄弟も見受けられます。あくまで感覚的なものですが、子育て世帯自体は少ないが、子沢山の家庭が多く見られるように思えます。

■では、実際の数字はどうなっているのでしょうか。今年1月現在の人口統計によると逗子・葉山とも65歳以上の人口の割合は25%を超えています。(神奈川県は18.5%)15歳以下の人口の割合は神奈川県13.3%・逗子市12.7%・葉山町12.4%となっています。このことから、高齢化が大きく進んでいるわりには、子どもの数は若干少ない程度だといことが分かります。



■つまり、①単身世帯や子どもがいない世帯が少ない、②一世帯あたりの子どもの数が多い、の二つのことが言えるのでないでしょうか。

■次にもう少し詳しく各年齢の人口割合を見ると、逗葉地区は3歳までの人口は少ないが、その後、小学校入学にかけて増えていることがわかります。(図参照)兄弟が増え、子どもが大きくなる頃に、逗子・葉山に自然豊かな環境を求めて引っ越してくる様子うかがえます。

■ちょうど幼稚園の年少から年長にかけて増加しているのですから、市外・町外からの入園や途中入園の需要が多いことが推測されます。このことから、各幼稚園には遠方からの問い合わせに対する充分な対応が必要になってくるのかな、と感じました。

通信員 石井 望 (かぐのみ幼稚園)

横 須賀市私立幼稚園協会

第11回子育て支援活動「いっしょにあそぼう♪」-心も体も元気になる運動遊びで親子のふれあいを実感-

■7月19日、横須賀市私立幼稚園協会主催の子育て支援活動のイベント「いっしょにあそぼう♪」が開催されました。横須賀学院の体育館を会場に親子650名と加盟各園の教員も大勢参加し、朝9時30分から約1時間余りを楽しみました。

■このイベントは、協会として地域の子育て支援のために取り組んでいる活動の一環で、手遊びや親子の運動遊びを通してスキンシップとコミュニケーションを楽しく体験できる場を提供するため、前身の「子育てフォーラム」から毎年開催され、少しずつ形態を変えながら11年目の開催となります。

■例年は2学期後半の開催でしたが、今回は園児募集時期の前に協会加盟園をアピールするため一学期に行われ、加盟各園を通しての案内チラシ配布以外にも地元フリーペーパーのはまかせ新聞の協賛により、告知記事の掲載や同新聞を通じての集客を併せて行いました。横須賀学院にも昨年に引き続き全面的にご協力を頂き、市内唯一の私立小学校として幼保小の連携会議を推進する中から、私学同士の協働イベントとしての意味合いも深まってまいりました。更に横須賀市観光課「カレーの街 よこすか」のマスコットキャラクターの着ぐるみ「スカレーちゃん」の参加や、市内企業の協賛によ



る参加記念品の配布なども大好評を頂いています。

■日本遊育研究所専任講師・山田宏史先生は地元横須賀のご出身とすることも有り、例年講師をお願いしています。パリエーションを変えながら、親子の遊びを発展させるこの催しを、毎年楽しみに来場していただく方が多数いらっしゃいます。子どもたちの嬉しそうな笑顔。広い体育館でのびのび駆け回って遊んで、暑い時期での開催ではありましたが、今回も親子で大満足の様子でした。

■尚、このイベントは翌日の神奈川新聞と8月8日発行のはまかせ新聞の記事として取り上げていただくことが出来ました。

協会長 室北篤郎 (大津幼稚園)

紙面の関係上、今回、横浜・川崎・横須賀・逗葉・相模原・湘中央の6協会を掲載致しました。次回12月1日発行の166号に藤沢・鎌倉・茅ヶ崎・小田原・相和・厚木の6協会を掲載予定です。

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会

平成20年度 会長就任のごあいさつ



神奈川県私立幼稚園父母の会連合会会長

井関 みゆき

爽やかな初秋の季節となりました。本年度、神奈川県私立幼稚園父母の会連合会会長をつとめさせていただきます。これまで母になりなりました。これまで母の会が培ってきた実績をいかせまますよう、他の役員の皆様と一緒に頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

普及など、私達の子どもの時代には想像もつかなかった環境が子ども達を取り囲んでおります。役立つ情報を簡単に得ることができ、反面有害な情報にも容易に触れてしまえる環境の中、子ども達にいかにも真実を捉える力を養わせ、生きる力を育み、心身ともに健やかな成長を導いていくことが出来るか、考えさせられる毎日です。

当会では、神奈川県私立

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 委員名簿

Table with 3 columns: 役職 (Role), 幼稚園名 (Nursery Name), 氏名 (Name). Lists members including the president, vice president, and various committee members.

研修大会情報 (詳細は後日発表予定)

平成20年度父母の会連合会研修大会

- 日時 11月4日(火) 9:30開場 10:00開会
■会場 パシフィコ横浜・会議センター メインホール
■講師 アルピニスト 野口 健氏

幼稚園連合会と連携・協力し、父母の会連合会研修大会を開催して広く幼児教育への理解を広めるとともに、私たち父母が互いに励まし合いながら意識を高めていくことができよう、各地区協会父母の会の研修に多くの協力をしております。また、子育てに負担を軽減する就園奨励費補助の増強、私立幼稚園への支援充実などを行政に働きかけ要望を行っております。そのため保護者の皆様には当会についてご理解、ご協力をいただき、より多くのご意見をお知らせ頂きたいと願っております。

六十周年に寄せて

心に残る交わりを豊かに

私が神私幼に身をおいてから四十以上の年月が流れています。研究部長・研究室長、ある時は副会長として、多くの方々を支えていただきました。とりわけ、研究部の仲間から貴重な学びの機会をいただいたと感謝しています。おかげさまで、子どもたちとともにある生活を楽しみながら、幼稚園教育経営の危機を克服してきました。

学校法人安部幼稚園 理事長兼園長 安部 富士男



空に舞うそれぞれの扉をもち

稚児つまむ花に幽かに空の藍 一ひらの花卉に映える空深し

稚児抱くや耳朶に幽かに花薫る

風立つや花に身を寄せ稚児ら舞う 花舞うやかごめかごめの子ら包み

山羊愛し稚児に身を寄せ齋食む

神私幼がそれぞれの幼稚園の教育経営を支え、心に残る交わりの場になってほしいと願っています。

春休みのことです。花びらが風に乗り園庭の空に舞っていました。

二十組ほどの親子が仲間と連れ立って園庭に遊びに来ていました。桜の下に御座を敷き、親たちが手づくりの料理を分け合っていると、芳が目の前に降ってきた花片をつまんで掲げ私に駆け寄って来ました。

「きれい」と抱き寄せると、微かに芳の耳朶に花の香を感じました。食べ終わった子どもたちが花吹雪に誘われ飛び出してきて、かごめかごめを始めました。時々私にはほほ笑みかける子どもいます。

牧場からコユキの鳴き声が聞こえてくると、聡が「あつ！餌、ちょうだいって言うてる」と、竹藪脇のスロープを駆け登っていきました。

7月22日、真夏の臨時総会開催される

いよいよ新幼稚園会館建設へGOサイン



完成予定図 写真向かって右側が業務棟 左側が住宅棟

本連合会の永年の悲願であった、新幼稚園会館の建設計画を会員に問う臨時総会が去る七月二十二日開催された。真夏の太陽が照り付ける中、横浜駅東口にあるジャスト1号館を会場に定刻どおり開催された。(詳細は事務局送付の臨時総会報告書をお目通しください) 会員総数五八四名、出席者五十七名、委任状三〇九名により総会が成立したため開会した。始めに渡邊真一会長より本計画の意味と適時性、六〇周年という記念の年にふさわしい事業であること。また、新しい時代に対応したより公共性の高い、今後求められる県連のあるべき姿を実現するための諸条件を備えた幼稚園会館であることなどを熱く語られた。その後議事に入り、新幼稚園会館建設推進担当の井上 久副会長より新会館の概要、資金計画案、保有不動産売却計画案、取得後の施設設備維持に要する費用等について資料を基に丁寧な説明があった。出席者から二、三の質問があり、質疑応答の後、採決に入り全会一致で本議案は可決された。機関決定を経て、いよいよ新幼稚園会館は建設への具体的第一歩を踏み出すことになった。今後は、現在保有している当初予定していた会館建設用地の売却や、フロアーのレイアウト、内装工事など多くの交渉を進めながら、平成二十一年十一月のオープンに向けて邁進することになります。会員各位のご協力に心より感謝申し上げます。



県連合会旗制定

今日まで県連合会には会章(シンボルマーク)と県連合会旗がありませんでした。そこで、六〇周年を機に県連合会旗を制定致しました。今後、公式な場で活用致します。



マークの由来 県の木イチヨウの葉(六枚)と県の花ヤマユリ(六弁)を組み合わせて、十二の地区を表しました。

応募作品

県連合会の旗を制定するにあたり、作品を公募しました所 一点応募作品がありました。アイデアに溢れ、楽しい作品です。今後、県連合会キャラクターとして活用いたします。阿部先生ありがとうございました。



横浜協会原幼稚園阿部真紀先生の作品 神奈川県をモチーフにかながわを描きました。

地域情報発信コーナー 横須賀協会

横須賀協会主催で七月十九日に第十一回子育て支援活動「いっしょにあそぼう」が開催され、タウン誌「はまかせ新聞社 横須賀・三浦・湘南版」(二〇〇八年八月八日号)に掲載されました。

第11回子育て支援活動「いっしょにあそぼう」 心も体も元気になる運動遊びで「親子のふれあい」を実感

主催：横須賀市私立幼稚園協会 http://www.kidslink.jp/yokoshiyou/



7月19日、横須賀市私立幼稚園協会(園)加盟、主催の子育て支援活動のイベント「いっしょにあそぼう」が横須賀学院体育館で開催され、親子約650名と幼稚園の先生も大勢参加し、朝9時30分から約1時間余りを楽しんだ。同イベントは、同協会が幼児教育発展のために取り組んでいる活動の一環で、手遊びや親子の運動遊びを通してスキンシップを楽しく体験できる。日本遊育研究所 任講師・山田宏幸先生は、「子どもは、じゃれついたり転んだりして強くなる。何も物を使わずに親子でふれあ

研修会報告

開催日	研修会名	会場	講師	テーマ	参加者数
6月20日(金)	第1回後継者育成研修会	(社)横浜市幼稚園協会 会議室	保育システム研究所 代表 吉田 正幸 先生	「問われる幼稚園の存在意義」 ～改革の嵐の中で消える園、輝く園～	70
6月23日(火)	第2回統合保育基礎講座	かながわ県民センター ホール	神奈川県立保健福祉大学特別研究員(精神保健福祉士) 上原 文 先生	「子どもの心の発達・子どもをめぐる環境」	164
7月1日(火)					132
6月30日(月)	教育振興連盟研修会	横浜エクセルホテル東急	厚生労働省児童家庭局保育課長 義本 博司 先生	「激動のなかの幼児教育の今後」	55
8月6日(水)	第2回10年経験者研修会 (免許状更新講習 「予備講習」)	鶴見大学	せんりひじり幼稚園長 安達 讓 先生	「保育者間の円滑な人間関係」	48 (32)
			大妻女子大学教授 岡 健 先生	「指導計画立案に於ける みとり、記録、環境の構成」	
			聖徳大学准教授 高橋 かほる 先生	「幼児期の発達特性」	48 (33)
7日(木)			神奈川県立保健福祉大学特別研究員(精神保健福祉士) 上原 文 先生	「幼稚園における特別支援」	

**編集
後記**

連日30度を超す猛暑の中、神私幼設立60周年が盛大かつ充実した内容で無事に執り行われました。この度の会報(165号)はパシフィコ横浜国立大ホールでの活気ある様子が少しでもお伝えできればと思い、担当メンバーはカメラ片手にメインホールは勿論のこと、バックヤードである舞台裏や控室での様子などをたくさん撮影をさせていただきました。ご協力ありがとうございました。そして今回の特集号はいかがでしたでしょうか。今後も充実した会報になるよう努力してまいります。

広報室 川崎 永(相模原・つくしの幼稚園)

県連合会設立「六十周年史」発刊



(社)神奈川県私立幼稚園連合会は、今年の11月に設立六十周年を迎えます。今回はそれを記念致しまして「六十周年史」発刊のはこびとなりました。公益法人法改定に伴い、社団としては最後の発刊となりました。当初、19年9月、広報室長の井上先生の下編集委員が招集され、発刊準備を開始しました。記念史は過去5回(10～50)にわたり発刊されていますが、「六十周年史」はその完結版にふさわしく、各園紹介のカラー化をはじめ、内容が充実されており「情報」「質」共に媒体として大変価値あるものに編集されています。また、1958年に当時の神奈川県幼稚園協会より発刊された十周年史「十年のあゆみ」を今回の「六十周年史」に復刻版を掲載するなど、編集委員の工夫も随所に見受けられます。

この度、(社)神奈川県私立幼稚園連合会として「六十周年史」を多くの関係者の参画により、形あるものとして発刊出来たことに大変意味深いものを感じます。これを機に、各園におかれましても「六十周年史」同様に歴史を積み重ねていただき、更なる発展をされることと思います。

広報室 記念誌委員 田中 貴章(横須賀・うわまち幼稚園)

ホームページリニューアル情報 <http://www.shinshiyou.com>

先にお知らせした通り、7月1日に県連合会ホームページをリニューアルしました。情報化時代に対応すべく、従来のホームページに比べ情報量を大幅に向上させています。具体的には「保護者のページ」「教員のページ」「幼稚園教諭を目指している方のページ」「会員のページ」とそれぞれ独立したページから必要な情報を得られるようになっており、特に会員のページからは各書類がWord & Excelでダウンロードできるシステムを備えております。また、ホームページ自体が「簡単更新システム」で作動しているため、ブラウザ上からの更新が容易で、いち早く伝えたい情報が載せられるといった特徴もあります。現時点では、準備中の箇所も多いですが、今後はコンテンツの充実にも努め、皆様に役立てていただけるホームページになるよう一層努力を重ねてまいりますので、よろしくお願いたします。

広報室 ホームページチーム チーフ 藤田 聡(川崎・潮見台みどり幼稚園)



**ホームページ担当者
募集**

ホームページに詳しい方、興味のある方、勉強したい方、どなたでも歓迎です！
お手伝い頂ける方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。

こうして県連会報が出来上がります

現在、年4回発行している神私幼会報は年間発行マスタープランに基づき計画性を持って制作するよう努力しています。おおむね発行2ヶ月前に具体的編集方針書を作成し、委員会を開催、構成や取材内容を決定後、原稿依頼、取材活動などを行ない、約2週間後に素材を集積しレイアウトを行ないます。この間はすべてメールで行ないます。原稿、写真、図画、グラフ等は電子情報によって配信、収集します。これにより即時性、情報の共有化が可能となりました。いったん全ての情報が県連事務所の情報処理センターに集められ、内容を確認の上、石黒印刷の編集者に送信されます。その後数回にわたるPDF添付ファイルのやりとりを経て、文字の校正(3校正)を終了し、印刷所にて色彩の校正(色校)を行い、いよいよ印刷となります。製本後、発送作業を経て、発行日3日前に皆様のお手元に到着いたします。隅々までご愛読ください。目に見えない苦勞をしながら作っております。(広報室一同)

送付先一覧

- ①県連加盟園584園(2部)
- ②神奈川県知事
- ③県学事振興課
- ④全ての神奈川県議会議員
- ⑤県下全12協会事務局
- ⑥47都道府県私立幼稚園事務局
- ⑦神奈川県教育委員会
- ⑧県下、教育委員会
- ⑨父母の会連合会
- ⑩文部科学省
- ⑪国立国会図書館
- ⑫県下図書館
- ⑬県下の保育専門学校、短大、大学、大学院
(幼稚園教員養成課程のある教員養成機関)
- ⑭その他 (敬称略)

平成20年度神奈川県連加盟園数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
横浜	266	55,849	55,849	0
川崎	81	22,269	22,281	- 12
横須賀	27	5,421	5,454	- 33
藤沢	31	6,062	5,965	+ 97
鎌倉	22	3,316	3,320	- 4
茅ヶ崎	18	3,661	3,549	+112
湘央	39	6,921	6,905	+ 16
小田原	12	1,445	1,472	- 27
相和	27	5,351	5,307	+ 44
相模原	34	7,970	7,972	- 2
逗葉	7	960	957	+ 3
厚木	20	3,345	3,457	-112
計	584	122,570	122,488	+ 82

県連設立 1948年(昭和23年)

発行
社団法人神奈川県私立幼稚園連合会
〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台22-14
県青少年課神之木台分館内
TEL. 045-430-3102 FAX. 045-430-3103

印刷
(有)石黒印刷
〒232-0056 横浜市南区通町3-50-1
シティコープ弘明寺101号
TEL. 045-713-0080 FAX. 045-713-0036